

川崎市 - フランチャイズ

東京交響楽団は、2002年、川崎市とフランチャイズ契約を結び、2004年7月に開館したミュゼ川崎シンフォニーホールを本拠地としてリハーサルから演奏会までをおこなっています。



ミュゼ川崎シンフォニーホールでは、川崎定期演奏会（年5回）や「名曲全集」シリーズ（年10回）、ジルベスターコンサートなどの特別演奏会を開催するほか、毎年夏に開催される、首都圏の9つのオーケストラが一同に集う音楽祭「フェスタサマーミュージア」ではホストオーケストラとしてオープニング公演、出張しんゆり、フィナーレ公演に出演しています。



ミュゼ川崎での公演数は30回程度、リハーサルは年間約90日にのびます。1年の3分の1をミュゼ川崎で過ごし、世界屈指の音響空間で行われるリハーサルにより、オーケストラのアンサンブルは日々磨かれ、細部までホールの特性を熟知した響きを届けることが可能となります。また、制作面でもミュゼ川崎と協働し、開館当時から続く「名曲全集」やオペラプロジェクトを筆頭に、青少年・家族向け公演やジルベスターコンサートなどの趣向を凝らした特別コンサートを行っています。

ミュゼ川崎でのオーケストラ公演



- ・川崎定期演奏会（年間5回）
- ・0歳からのオーケストラ
- ・かわさきシンフォニーポップス公演
- ・ミュゼ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団「名曲全集」（年間10回）
- ・モーツァルト・マチネ（主催：ミュゼ川崎）
- ・フェスタサマーミュージア KAWASAKI（主催：ミュゼ川崎）
- ・特別公演（オペラ・プロジェクト）（主催：ミュゼ川崎）
- ・オーケストラで奏でる映画音楽（主催：ミュゼ川崎）
- ・「ミュゼの日」コンサート（主催：ミュゼ川崎）
- ・ジルベスターコンサート（主催：ミュゼ川崎）
- ・子どもの音楽活動推進事業「オーケストラ鑑賞事業」（川崎市教育委員会）
- ・各種音楽鑑賞教室

ミュゼ川崎でのコミュニティプログラム



東京交響楽団楽団員の出演する室内楽を中心に、気軽に楽しめるミニコンサートから、音楽の新しい魅力・側面を探る体験プログラム、市内小中学生へのワークショップなど、ミュゼ×東響ならではの多彩なプログラムを提供しています。

- ・MUZAランチタイムコンサート
- ・東響ミニコンサートin ガレリア
- ・ジュニアプロデューサー企画
- ・音楽サロン〜ミュゼ・ミュージック・カレッジ
- ・音楽ワークショップへの参加

川崎市内でのコミュニティプログラム



本拠地であるミュゼ川崎シンフォニーホールのみならず、川崎市が進める「音楽のまち・かわさき」のシンボリック存在として、川崎市内小学生を対象とした音楽鑑賞教室の開催、プロサッカーチーム川崎フロンターレ新体制発表会や川崎市内のイベントへの出演、川崎市内へ出向いて各区役所、福祉施設、学校、オフィスビル、ショッピングセンターなどで演奏会をおこなっています。

- ・市内巡回公演（川崎市）
- ・かわさき区ピアノコンサート
- ・中原区役所コンサート（～2019年）
- ・かわさき宙（そら）と緑の科学館（川崎市青少年科学館）プラネタリウムコンサート
- ・かわさきブリッジオーケストラ〜いろいろねいろJAM（インクルーシブ音楽ワークショップ&ライブ）
- ・その他、訪問した先：川崎市議会議場、川崎市平和館、川崎市国際交流センター、川崎市民プラザ、子ども文化センター、多摩市民館、幸市民館、宮前市民館、中原市民館、麻生市民館、高津市民館、市立川崎病院、市立井田病院、新百合ヶ丘総合病院、川崎市授産学園、KFJ 多摩すかいきっず、studioFLAT、社会福祉法人川崎愛児園、川崎アセイリア施設新日本学園、障害者支援施設セイフしんゆり、特別養護老人ホーム片平長寿の里、障害者福祉サービス事業所しらはた、児童福祉施設川崎愛児園、特別養護老人ホーム生田広場、特別養護老人ホームわらくももの丘、障がい者支援施設もえぎの丘、障害者支援施設多摩川あゆ工房、児童福祉施設白山愛児園、特別養護老人ホーム幸福苑

沿革

2002

- 11月
 - ・川崎市とフランチャイズ契約を締結

2004

- 4月～
 - ・ミュゼ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団共同主催で名曲全集スタート
- 7月
 - ・ミュゼ川崎シンフォニーホール開館
 - ・ミュゼ川崎内に事務局機能・楽器庫・控室等を集約、本拠地としてリハーサルから演奏会を行う
 - ・ミュゼ川崎シンフォニーホールこけら落としコンサート〜川崎市制30周年記念公演〜



秋山和慶指揮、マーラー 交響曲第8番「千人の交響曲」

2005

- 7月
 - ・第1回「フェスタサマーミュージアKAWASAKI」開催。東京交響楽団がホストオーケストラを務める

- 12月
 - ・かわさきジルベスターコンサートがスタート

2009

- 4月～
 - ・ホールアドバイザー企画「オーケストラで楽しむ映画音楽」スタート
- 7月
 - ・ミュゼ開館5周年を記念して委嘱された「音楽のまちのファンファーレ」（三澤慶作曲）を初演、フェスタサマーミュージアに華やきを添える

2010

当時の音楽監督クベール・スターン企画による『モーツァルト：マチネ』シリーズスタート

- 3月
 - ・東日本大震災により天井仕上げ材等が落下し、ホール休館（～2013年3月）ミュゼ川崎で予定していた公演を市内・市外各地の代替会場にて開催。
 - ・ミュゼ川崎で予定していた公演を市内・外各地の代替会場にて開催。

<代替会場>
 ミュゼ川崎音楽工房、川崎市教育文化会館、川崎市幸市民館、川崎市労働会館「サンピンかわさき」、NEC 玉川ルネッサンスシティホール、川崎市総合福祉センター「エポックなほら」、川崎市高津市民館、前田ホール（洗足学園）、川崎市宮前市民館、チャロ・ジリオ・ショウワ（昭和音楽大学）、川崎市麻生市民館、ほか

2013

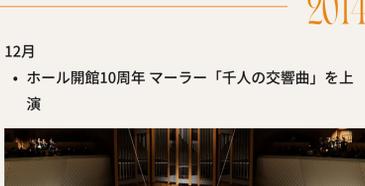
- 4月
 - ・ミュゼ川崎シンフォニーホールリニューアルオープン

- 7月
 - ・ミュゼの日「ウェルカムコンサート」スタート

2011

2014

- 12月
 - ・ホール開館10周年 マーラー「千人の交響曲」を上演

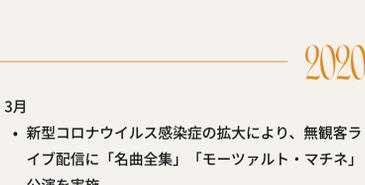


2019

- 11月
 - ・ミュゼ川崎シンフォニーホール15周年記念公演「グレの歌」上演

2020

- 3月
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、無観客ライブ配信に「名曲全集」「モーツァルト・マチネ」公演を実施。



2024

- 7月
 - ・川崎市制100周年記念式典にて、洗足学園大学、昭和音楽大学と共に100名を超える合同オーケストラを編成。350名の市民合唱と共演。

- 6月
 - ・川崎市マッピングギフトコンサートを実施、無観客配信と同時に、寄付と同額分の招待券を市が補助する新たな取り組みに注目が集まった